

平成 29 年度 第 66 回全日本大学サッカー選手権大会

展望

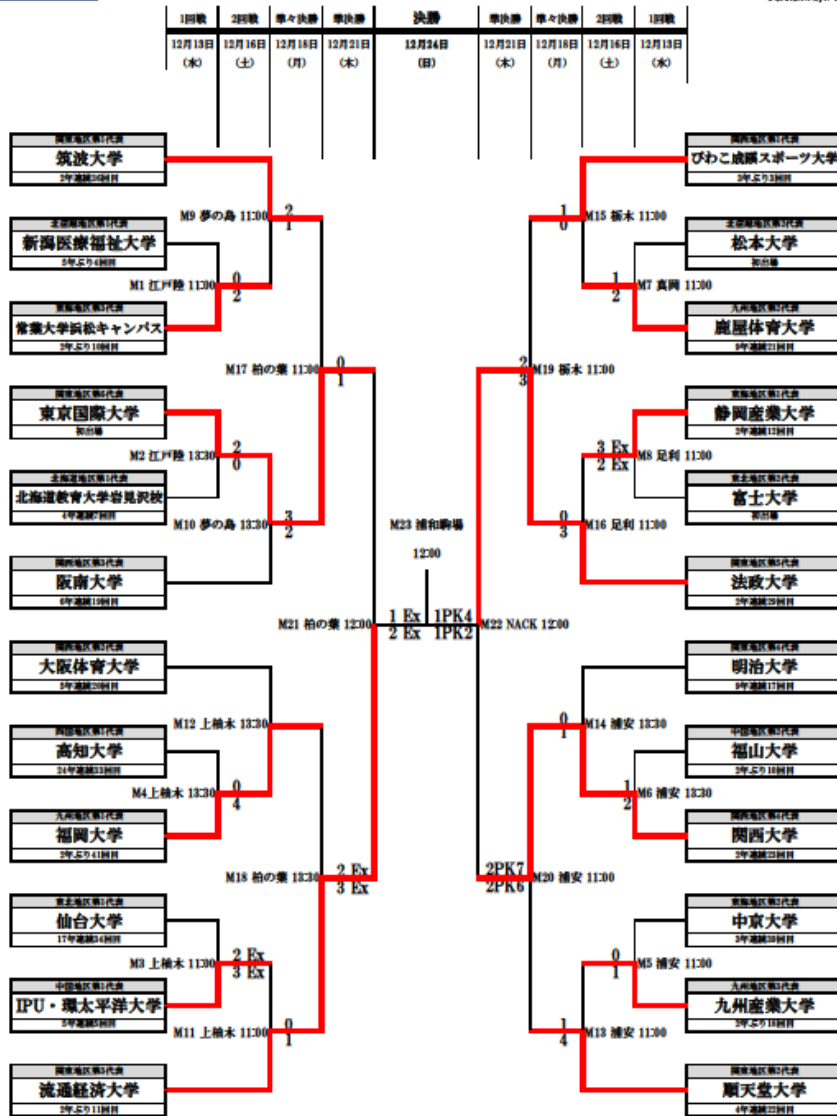
OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

NO. 3

発行：一般財団法人 全日本大学サッカー連盟
協力・文：内藤悠史



平成29年度 第66回全日本大学サッカー選手権大会



◆Twitter:@JUFA_soccer
 全会場・全試合リアルタイム速報

◇Instagram:@JUFA_Japan
 大会期間中の感動の名シーンの振り返り

◆公式 HP
<http://www.jufa.jp/>
 随時、情報をお知らせ

流通経済大学 vs 法政大学

12月24日(日) 12:00

浦和駒場

流通経済大学は、3戦連続で1点差勝利を収め、決勝へ駒を進めた。準々決勝は九州王者・福岡大学と戦い、延長後半終了間際の決勝点で3-2と勝利。フィジカルに秀でた相手への対策として、長身の選手を先発メンバーに並べた中野雄二監督の采配も的中した。そして準決勝でも延長戦の末、東京国際大学に2-1と競り勝っている。指揮官は「3つのミスが重なった」という失点を反省材料として挙げつつ、「先制されて浮き足立つかと思ったが、前半のうちに同点に追い付くことができた。そこからは落ち着いて試合を進められた」と、手応えを示していた。今季は総理大臣杯とリーグ戦でともに3位。安定した戦いを見せながらタイトルに手が届かず、悔しい思いを味わってきた。そして迎えた今季最後の大会。中野監督が「準決勝が大事」と位置付けた中、粘り強く「壁」を乗り越えてみせた。狙うは3年ぶりのインカレ制覇だ。FW ジャーメイン良(4年/仙台加入内定)やFW 渡邊新太(4年/新潟加入内定)らが攻撃陣を牽引し、MF 守田英正(4年/川崎加入内定)も抜群の予測と力強い守備でチームを支えている。大会屈指のタレント集団が、満を持して大一番に臨む。

対する法政大学は2回戦と準々決勝で各3得点を挙げ、ベスト4へ進出した。準決勝では関西大学と激突。好調を維持する攻撃陣はこの日も数多くの好機を作り出したものの、120分間で1得点にとどまった。それでもPK戦で4-2と勝利。ついに総理大臣杯との2冠へ王手をかけた。長山一也監督は「非常に粘り強かった」と関西大を称えつつ、「本当に厳しい試合だったからこそ、勝てて嬉しい。時間帯ごとにやるべきことを意識してプレーしてくれた。守備を崩しながらゴールを目指す回数は夏よりも増えてきた」と成長を実感している様子。右

膝に負傷を抱えながらも奮闘するFW ディサロ燦シルヴァーノ(3年)が前線で起点を作り、鋭い突破で推進力となっているほか、U-20日本代表帰りのFW 上田綺世(1年)やFW 松澤彰(2年)がスーパーサブ的存在として存在感を示している。3年生以下が主体のチーム編成だが、「4年生はピッチ外のことも含めてチームのためにやってくれている」と指揮官が称えるように、一体感は揺るがない。「4年生のために」という思いで、10年ぶりにたどり着いた決勝の舞台。実に41年ぶりとなるインカレ制覇、そして創部以来初の2冠達成を狙う。

さあ、いよいよ決勝が始まる。法大の長山監督は「球際での勝負」をポイントに挙げ、「個とユニットで崩す場面をうまく使い分ければ、チャンスはあると思う」と自信を見せた。その言葉に呼応するように、流経大の中野監督は「中盤での守備」を重要視している。法大がボールポゼッション率を高め、流経大がカウンターからチャンスを窺う展開となるだろうか。得点という結果を残しているアタッカーが両校のベンチに控えるだけに、交代選手の活躍も鍵を握るだろう。

ちなみに両校は3年前の総理大臣杯決勝で対戦しており、流経大が頂点に立った。法大が雪辱を期していることは言うまでもない。そして、両指揮官が法大出身であることも“因縁”の一つ。今大会期間中には中野監督が長山監督に「法政対決」ができれば」という話をしていたという。今季のリーグ戦は1勝1敗と五分で、この決勝は“決着”をつける戦いでもある。手の内を知り尽くし、幾多もの思いを胸に対峙する両雄。日本一に輝くのは、果たして――。

【決勝 12/24】Jクラブ内定者サイン会開催

関東大学サッカーリーグ戦からJリーグクラブへの来季加入が内定した選手のサイン会を開催します！

また、同イベント会場におきまして、内定者の名前と背番号入りのユニフォーム型ストラップも販売。

どなた様もご参加いただけるイベントですので奮ってご参加ください♪

未来のJリーガーたちの、貴重な大学時代のサインを逃すな！！

〇日時：12月24日(日) 決勝戦(12:00KICKOFF)の終了後

〇会場：浦和駒場スタジアム 場外広場

参加選手

筑波大学

中野誠也選手(ジュビロ磐田内定)・戸嶋祥朗選手(アルビレックス新潟内定)・野口航選手(ギラヴァンツ北九州内定)

順天堂大学

米田隼也選手、新里涼選手(Vファーレン長崎内定)・毛利駿也選手(ツエーゲン金沢内定)・坂圭祐選手(湘南ベルマーレ内定)

明治大学

木戸皓貴選手(アビスパ福岡内定)・柴戸海選手(浦和レッズ内定)・山崎浩介(愛媛FC内定)

鳥海晃司選手(ジェフユナイテッド千葉・市原内定)・土居柊太選手(FC町田ゼルビア内定)

※決勝戦が延長戦に突入した場合はサイン会開始時間を繰り下げます。また参加選手は直前に変更となる可能性もございます。

※内定者のユニフォーム型ストラップは当日のみの個数限定販売となります。